

平成26年4月30日

各位



株式会社 徳 ・ 株式会社傳六
ノリックス株式会社 ・ 有限会社和公
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

昨年に引き続き4月はどの店舗も前年より売上げを伸ばすことが出来ましたこと皆様の頑張りに対し感謝申し上げます。売上げが増えるという事は私たちが提供している商品がお客様にとって正しいものであるという証明です。さらに商品と提供するサービスをピカピカに磨いていきましょう。

さて4月1日から三徳庵、徳の葬儀料理の内容並びに価格の変更を行ないました。食材原価の高騰など止むに止まれぬ決断です。しかしながら、「以前あった〇〇円の料理を単純に△△円に値上げした」と言う事ではなく、これを機会に従来の献立を再検討し、何度も試作を繰り返しながらお客様にとって価値ある内容、価格に見合ったものになっているかを確認しながら進めました。また土日の忙しいときでもクオリティーを落とさずに、効率的なオペレーションで製造が出来るような献立への転換も進めています。松村課長を核心とする営業部の方々の頑張りにより、新たな法人の得意先様も増えてお客様からの私どもの会社への期待は更に大きくなってきています。

組織強化を目的としこの4月の辞令で新たな管理監督者も増えました。そのなかでそれぞれの店舗と職種の責任者は誰なのか、なにかあったときに誰に報告し指示を仰ぐのかという事を明確にする作業も進めています。しかし、私たちの会社の中には多くの細かな仕事が存在しているがゆえに、小さな隙間がどうしても存在してしまいます。仕事を細分化すればするほど必ず「間」というものが発生します。しかし多くの会社は、この「間」を重なりあわせ補いあって成長していきます。プロ野球に例えるとどんなにスター選手を集めても隙間のあるチームは強くはなれません。現在首位の広島カープのようにスター選手がいなくても一枚岩になっていれば大きな力になっていきます。神戸女学院大学の内田樹先生が書いた本の中に「私の仕事ではない。あなたの仕事でもない。誰の仕事でもない仕事が放置されている組織はそこから腐敗する」という一節があります。私どもの会社に勤める方すべてが、率先して周りの仲間の仕事に目を向け、互いに補い合う事ができれば私どもの会社はさらに発展する事が出来ると考え、そのような行動をとって頂きます事を共に働く皆様に希望致します。

【徳の経営理念】

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

【徳のモットー】

「一膳入魂」～うまい料理は世の為、人の為～

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう

草々